持続可能な
サーキュラーエコノミー創造に向けた
環境資源循環ビジネスモデル

【コーヒーの搾りカス(廃棄物)×新配合・成型技術でのアップサイクルな人工木建材への製品化】

アート・コム・ウッド　株式会社呉松

エコマークアワード2026　優秀賞

【アート・コム・ウッド】では、2009年よりエコ製品でのバリアフリーに対応した人工木建材《ウッドデッキなど》の特許製品開発を進めてきました。

2023年にはSGDs宣言をおこない『森も豊かさを守る、再生可能資源を活用した持続可能な製品づくり』をコンセプトとして3Sにも対応した生産システムも構築することが出来ました。

そして現在、社会的にも環境に対する取り組みが循環可能な経済へと進化するに伴い【持続可能なサーキュラーエコノミー創造に向けた環境資源循環製品】の開発とシステムの構築を目標に企業活動をおこない、更なるアップサイクル製品化事業への取組みを進めております。

従来の天然木紛＋リサイクル樹脂にて
市民病院（富山県内）で人工木デッキ並びに人工木ルーバを設置しています



●アート・コム・ウッド「コーヒーグラウンズとリサイクル樹脂配合の人工木建材」生産工程

株式会社呉松

◇生産コンセプト「sustainable circular economyへの取り組みによる製品づくり」

◆現地木材の伐採（杉材など間伐材の利用）



◆製材加工（建築資材・家具材など）



◆製材後の端材を再利用（木材チップ）



（おが粉）



●木材微粉砕加工による
ミクロン単位木粉化

◆木粉





★コーヒーグラウンズ（絞り粕）

●コーヒーグラウンズ

**資源再活用型システムによる再生可能資源を活用した
持続可能な人工木建材生産の流れ**

●木粉・バイオマス原料の混配合
※造粒・原料加工

★自社工場から排出した人工木端材を粉砕し再利用

◆再生プラスチック原料



★樹脂加工製品の
端材を再利用



★リサイクル樹脂



★クリアタイプ

●各種成型形材



★成型形材の端材



◆採寸（長さ・断面加工）

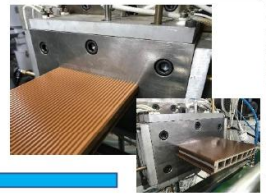


◆表面の加工（幅・厚み寸法）



●木風サンディグ
●反り・曲がり調整

●多種多様な形状に対応する
押出金型(オーダー製品も可能)





●二層押出成型機に
よる形材成型

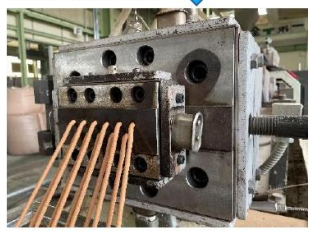
◆表層材原材料



◆中芯材原材料



◆造粒・原材料製造

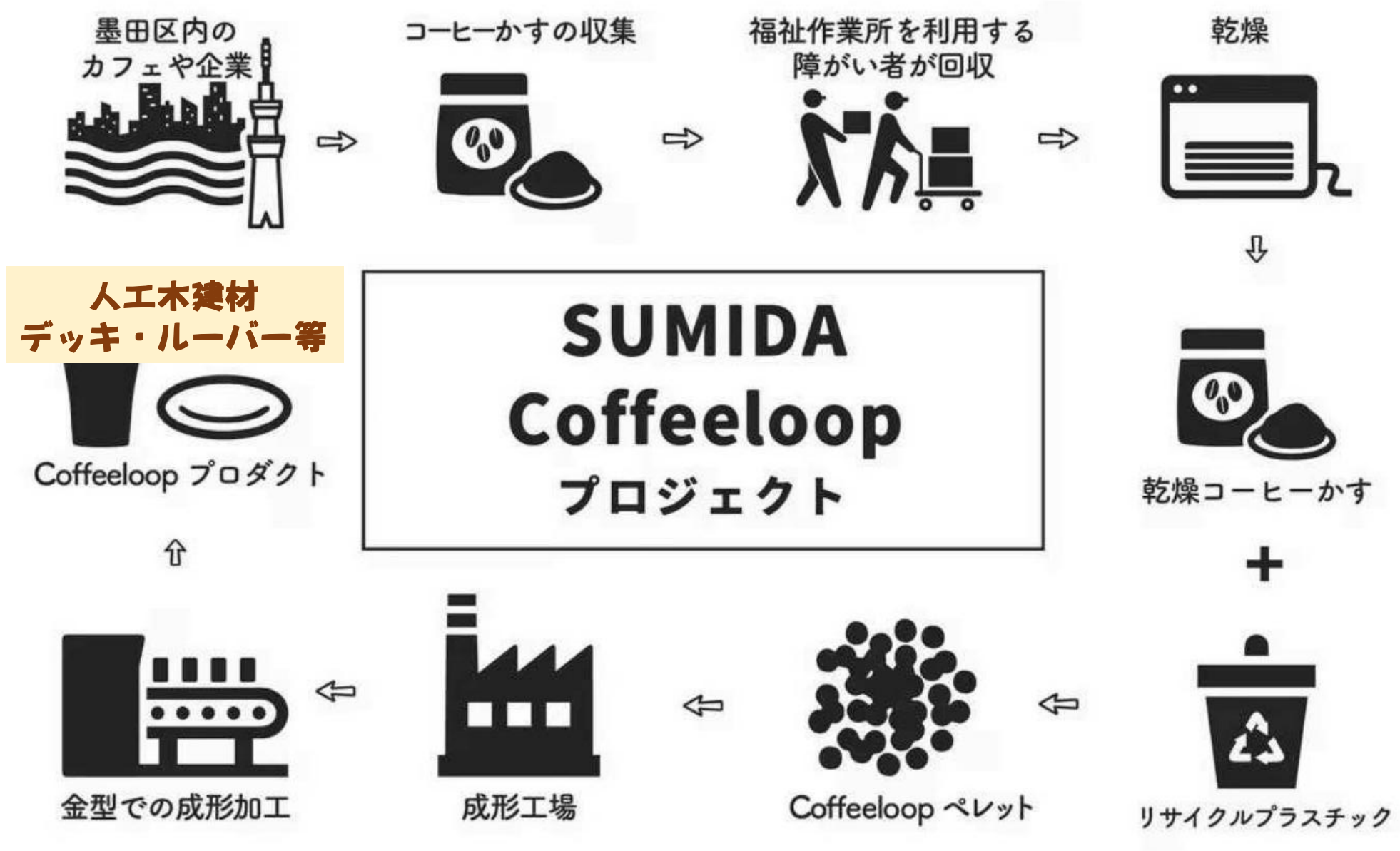


人工木デッキにコーヒーグラウンズ（搾りかす）が使用されています



【タリーズコーヒー高岡おとぎの森公園店】：2025年4月オープン

地方自治体の資源循環と地域連携事業として、その地域の社会福祉団体の就労にて回収した
コーヒー搾りカス(廃棄物）を原材料活用し、その地域に建設する施設の建材に活用するループ図



コーヒーグラウンズ（搾りかす）配合により生産した人工木建材

フェンス（壁面）化粧材



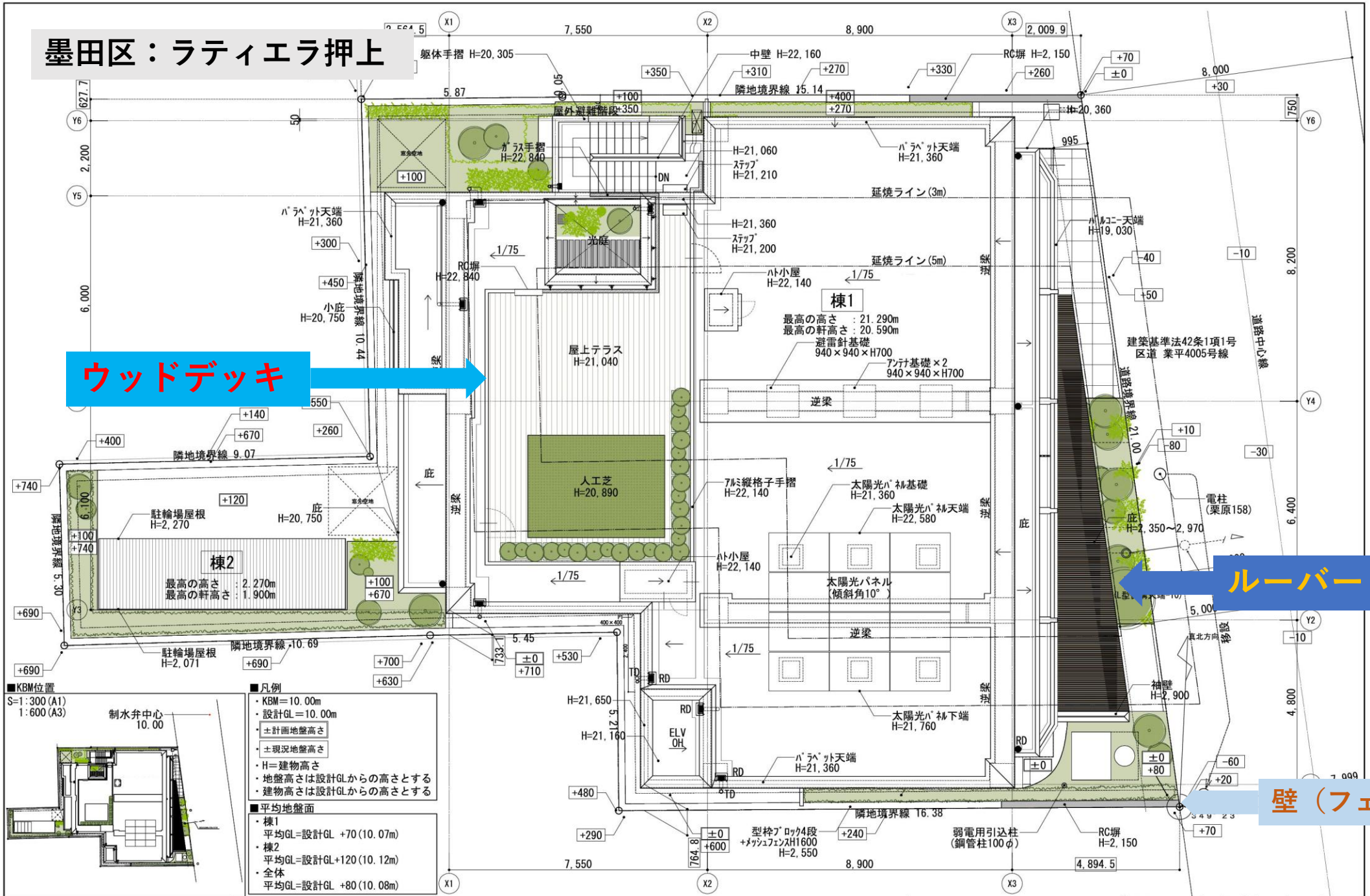
ウッドデッキ化粧材



ルーバー化粧材



墨田区：ラティエラ押上


ウッドデッキ
ルーバー（庇）
壁（フェンス）
棟1
最高の高さ　：21.290m
最高の軒高さ：20.590m
棟2
最高の高さ　：2.270m
最高の軒高さ：1.900m
屋上テラス
H=21,040
人工芝
H=20,890
光庭
屋外避難階段
太陽光パネル
（傾斜角10°）
逆梁
庇
駐輪場屋根
H=2,071
駐輪場屋根
H=2,270
小庇
H=20,750
RC塀
H=22,840
ガラス手摺
H=22,840
躯体手摺 H=20,305
中壁 H=22,160
RC塀 H=2,150
パラペット天端
H=21,360
ハト小屋
H=22,140
アルミ縦格子手摺
H=22,140
太陽光パネル基礎
H=21,360
太陽光パネル天端
H=22,580
太陽光パネル下端
H=21,760
型枠ブロック4段
+メッシュフェンスH1600
H=2,550
弱電用引込柱
（鋼管柱100φ）
袖壁
H=2,900
電柱
（栗原158）
庇
H=2,350～2,970
建築基準法42条1項1号
区道 業平4005号線
道路境界線
道路中心線
隣地境界線
真北方向
■KBM位置
S=1:300(A1)
1:600(A3)
制水弁中心
10.00
■凡例
・KBM＝10.00m
・設計GL＝10.00m
・±計画地盤高さ
・±現況地盤高さ
・H＝建物高さ
・地盤高さは設計GLからの高さとする
・建物高さは設計GLからの高さとする
■平均地盤面
・棟1
平均GL=設計GL +70(10.07m)
・棟2
平均GL=設計GL+120(10.12m)
・全体
平均GL=設計GL +80(10.08m)



掲載の外観完成予想CGは、計画段階の図面を基に描き起こしたものです。なお、形状の細部、設備機器等は表現しておりません。　また、建物周囲の建物・電柱等は省略しています。



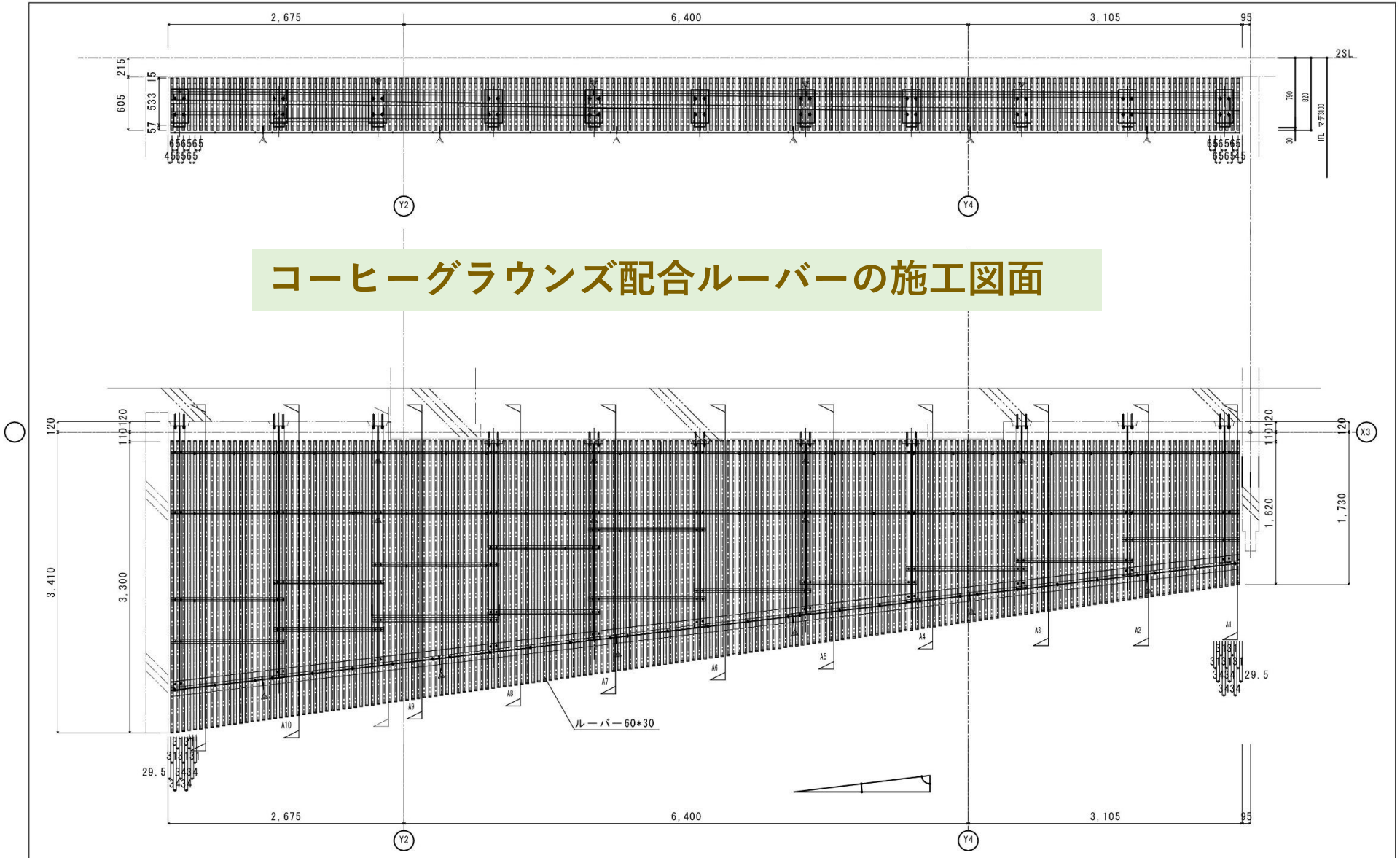
ラティエラ押上

施主：東京ガス不動産㈱

設計：㈱ラカンデザイン研究所

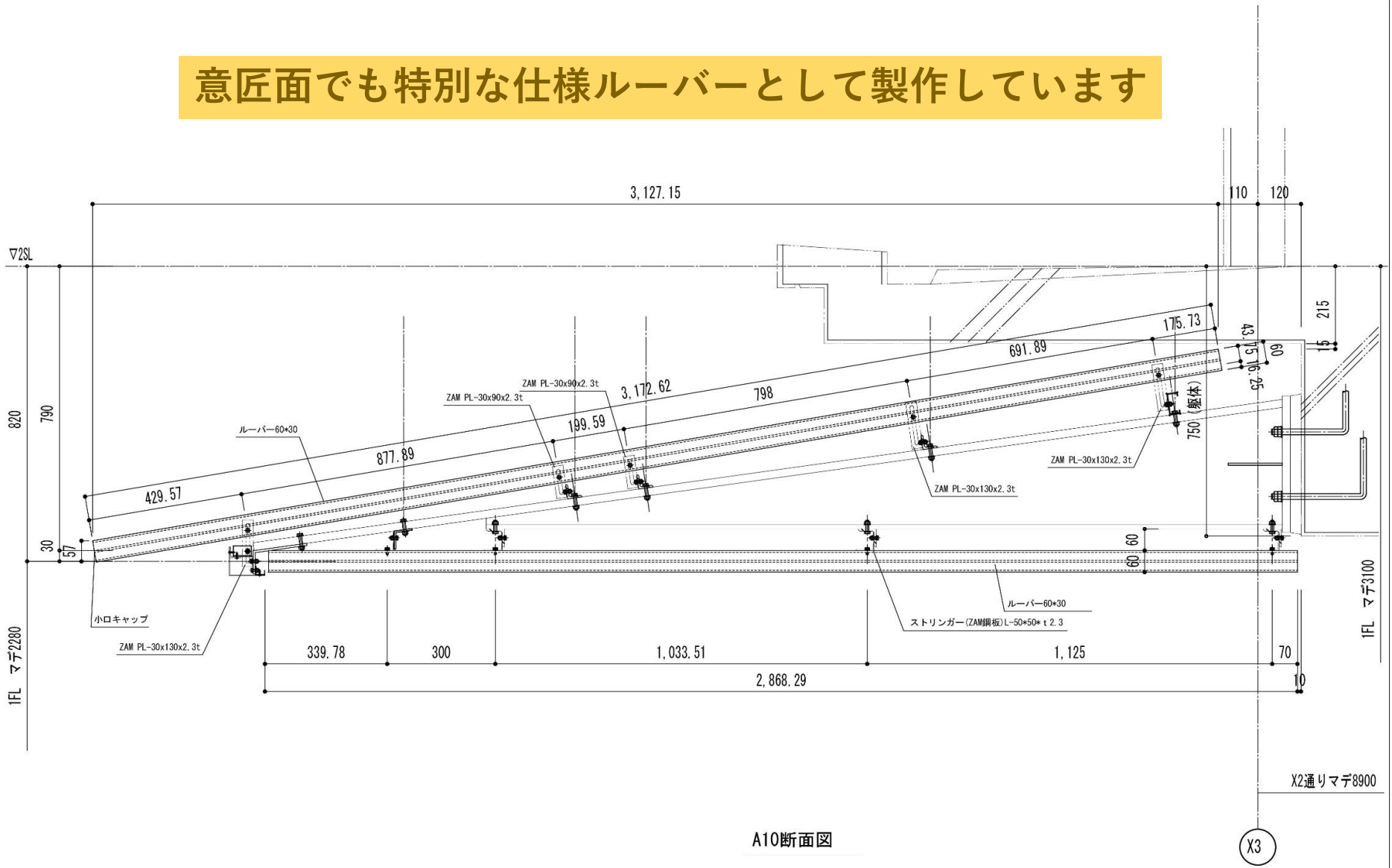
掲載の外観完成予想CGは、計画段階の図面を基に描き起こしたものです。なお、形状の細部、設備機器等は表現しておりません。　また、建物周囲の建物・電柱等は省略しています。

コーヒーグラウンズ配合ルーバーの施工図面



訂正：2026, 8, 26	・ベーシック・ルーバー30*60@65		承認				業平賃貸住宅新築工事
訂正：2026, 9, 3	・色：		日付	日付	日付		
						日付 2026, 7, 29	軒天ルーバー上部 化粧材割付図
						株式会社 呉松	S:1/20 01-004

意匠面でも特別な仕様ルーバーとして製作しています



A10断面図

訂正：2026.8.26	・ベーシック・ルーバー30*60@65		承認				業平賃貸住宅新築工事
訂正：2026.9.3	・色：		日付	日付	日付	日付 2026.7.29	軒天ルーバー納まり図
						株式会社 呉松	S:1/10
							02-010

SUMIDA Coffeeloop プロジェクト

2026年11月より「ラティエラ押上」に設置する人工木建材【デッキ・ルーバー・壁面】において、墨田区でのコーヒーループ事業用の原材料コンパウンドは約5t以上が必要であり、乾燥前のコーヒー廃棄物（カス）は約1.5tになると考えます。

その量は約150000杯の使用済みコーヒー豆（搾りかす）を活用する計画になります。

廃棄されるバイオマス原料をリサイクル樹脂と配合することにより、機能的な人工木建材へのアップサイクル（特許製品）化【地域環境資源循環事業】は、これからの日本で必要とされる取組みだと考えます。

①廃棄する自然由来の原料を活用

②リサイクル樹脂の活用

③廃棄物を人工木建材へのアップサイクル製品化により、大量の廃棄物原料活用が可能となります

④社会に必要とされる機能的製品への実用
・バリアフリーに必要とされる段差を解消する人工木ウッドデッキ
・パブリックスペースへの緑化に対応する、フェンスや壁・庇としての人工木建材

⑤地域資源の循環できる地産地消も可能としたビジネスモデル

⑥地域企業や地域の福祉施設・行政と共に実施することが可能な社会貢献活動

限りある資源を、ムダな費用をかけて廃棄する資源を、社会に必要とされる機能、社会に必要な環境へと生まれ変わらせる取組みは、これからの社会には必要となるべき仕組みではないでしょうか。
この事業は新しい経済価値を育むことが出来る循環経済社会を目指します。

JR東日本と開発しました、山梨県で排出したブドウ搾りかすを再活用した小淵沢駅のベンチです

WINE de Bench

@小淵沢「エコステ」

JR東日本SDGs



パミス活用ベンチの製作

山梨県産ワインの製造過程で排出されるぶどうの搾りかす(パミス)と、コンタクトレンズ工場で発生する廃棄予定の端材(廃プラスチック)の２つを原料として製造した建材を活用し、地域に則したベンチつくりに取り組みました。

地域と駅の連携

山梨県内ワイナリーのワイン生産過程で排出されるぶどうの搾りかすを活用した駅空間を構築

SDGs -つくる責任つかう責任-

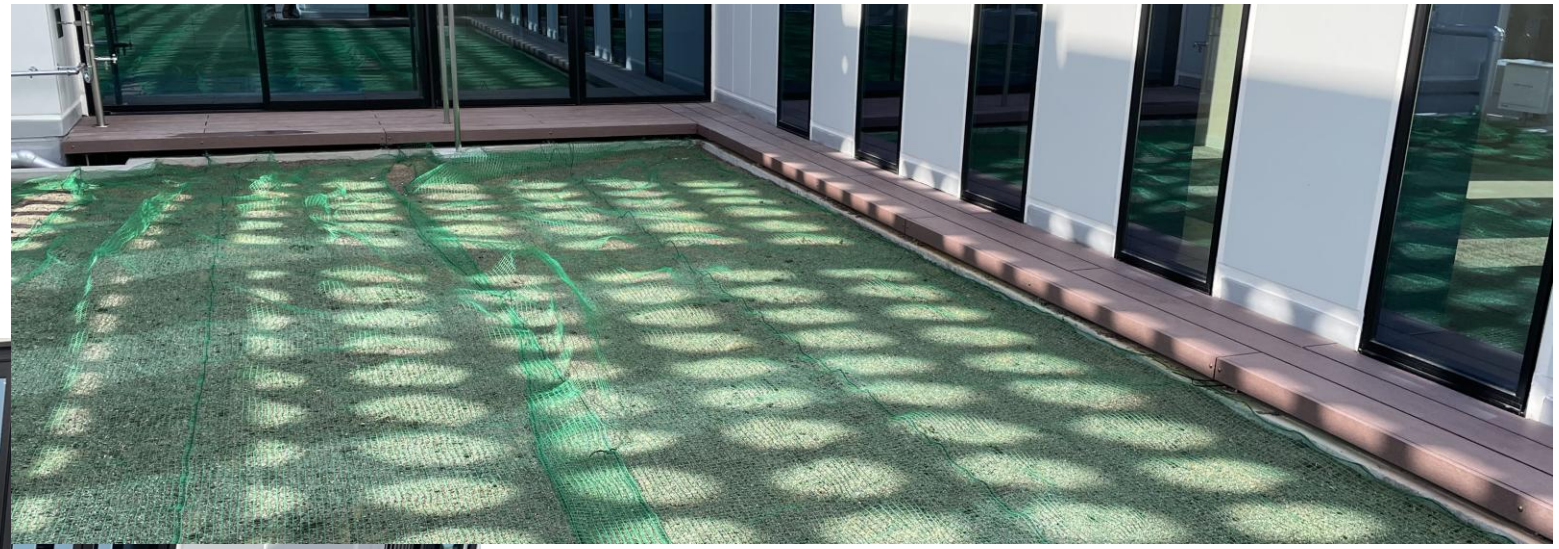
本来廃棄されてしまう廃プラスチックを活用した環境にやさしい建材を採用

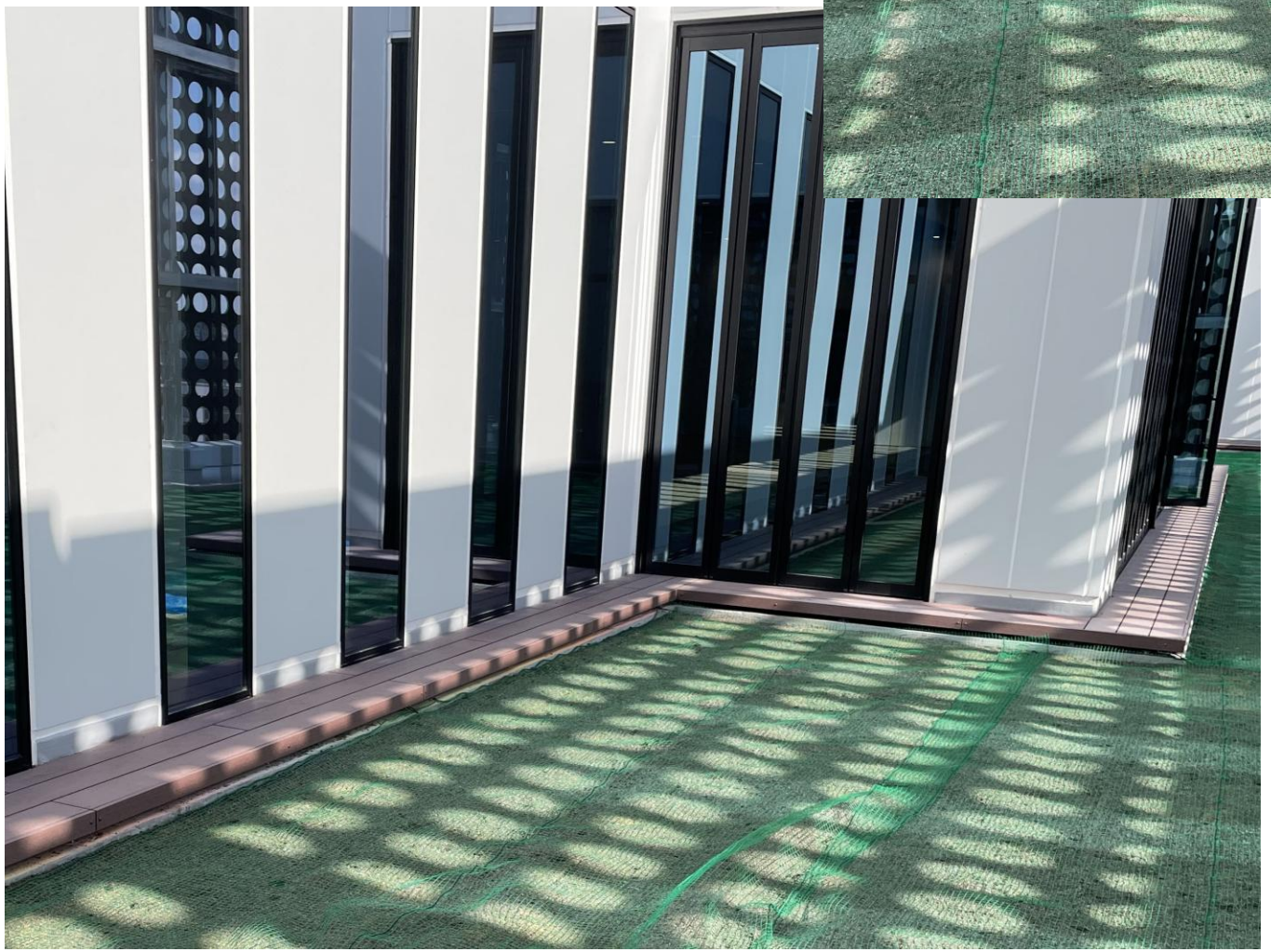


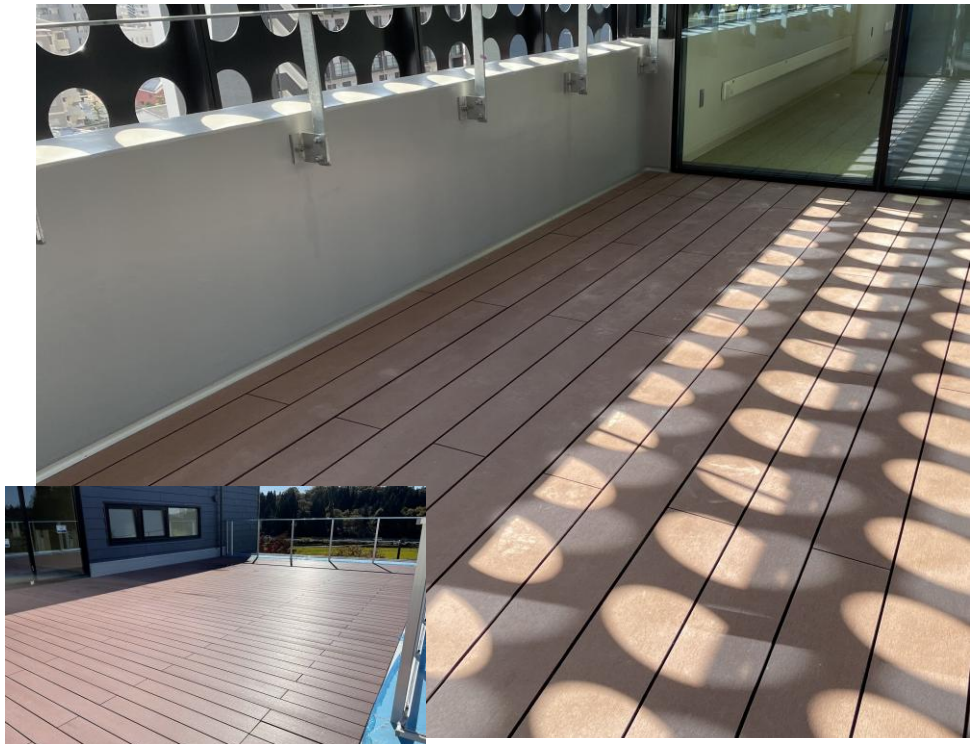
協賛：Menicon・ART.COMP.WOOD・JR東日本グループ

JR東日本 小淵沢駅・八王子建築設備技術センター

ワインのパミス（搾りかす）と
自社工場で発生するリサイクル樹脂
を原材料として活用しワインレッド
色のウッドデッキ（人工木建材）を
設置いたしました







現在、取組んでいる環境資源
（バイオマス原料やプラスチックなど）を再活用した
サーキュラーエコノミー事業として

⑴社会問題にもなっている放置竹林（竹害）の
課題解決に向けた竹の活用方法として製品開発

⑵廃棄物として大量に排出されるお米のもみ殻や
麦芽を人工木建材の原料として配合した製品開発

⑶各企業等で排出される廃棄物や環境資源のCO2削減に
繋がるカーボンニュートラルを目指した原材料開発

本来であれば廃棄物として、費用をかけ処理をしていた自然由来である原料や各企業等で排出されるリサイクル原料などを環境資源の循環を目的とし、原材料への配合技術の研究開発に取り組み、長年培った異形押出成形技術により機能的なアップサイクル製品へと生まれ変わらせることに成功しました。

★自然由来（バイオマス）の原料の特性・特長

1） コーヒーグラウンズ・パミス（葡萄）：油分を含んでいる原料は
少し柔らかめの優しい仕上がりになります。

2） もみ殻・竹・麦芽：ガラス繊維であるシリカを含んでいるので、
多少硬く化粧材としての形がはっきりする製品になる傾向があります。

エコ製品 → SDGs宣言 → 環境資源循環ビジネス

従来型

原材料

生産・販売

使用

廃棄物

3R

原材料

リデュース

生産・販売

リサイクル

使用

リユース

廃棄物

サーキュラーエコノミー

廃棄有機物

原材料

他のリサイクル素材（原料）

リサイクル

生産・販売

使用

社会に必要とされるアップサイクル製品

持続可能な循環経済社会の創造に向けて

今、必要とされている環境問題対策としては、従来のSDGsである3Rへの取組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、廃棄物を有効活用しながら、必要な機能（システム）やサービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動が必要であり、循環する資源・製品の価値の合理化、資源消費の最適化、廃棄物の発生抑制等を目指すものでなければならないと考えます。

現在、取組んでいる事業は、環境資源循環事業として
まさしくサスティナブル（持続可能）であり
サーキュラーエコノミー（循環経済社会）創造に向けた
ビジネスモデルになると考えます。

アート・コム・ウッドは

今後も各地域や各企業により排出された廃棄物やリサイクル原料を、付加価値あるアップサイクル製品を生み出すために『地域to地域、企業to企業』の持続可能な環境資源の活用を企画の段階から取り組み、【新しい経済価値を育む循環経済型社会システム構築に向けて、個々の企業から共感のパートナーシップによる企業連携（協業）が育むビジネス】へ挑戦し続けていきます。

2026年11月5日 株式会社 呉 松